

書名 項目	<h1>新編 新しい書写</h1>	2 東 書
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○文字を書く姿勢、鉛筆、筆の持ち方、筆の運び方がわかりやすいように大きな図や写真で示している。            ○文字の中心を整えるために気づきを促す工夫が見られる。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○「書写のかぎ」で重要なポイントを赤字にすることで考えながら書くことを促す工夫がある。            ○学習課題を疑問形で問いかけることで対話的な学びを促すような工夫がされている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「①見つけよう」「②確かめよう」「③生かそう」の学習過程を明確に示している。            ○低学年では難しそうな学習内容も、考えたくなるようにクイズ形式になっている。また、まとめが迷路で示されるなど親しみを感じられる工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</b>            ○ねらいとする学習課題が豊富である。            ○低学年では、水書用紙について取り上げられている。         </p> <p> <b>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</b>            ○「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力を育成するようにしている。         </p>	
資 料	<p>           ○巻末にひらがな、かたかな、ローマ字の表があり、復習できるようにしている。            ○単元の導入にQRコードによるコンテンツでアニメーションなどがあり、3年生以上では毛筆の運筆動画などもある。         </p>	
表記・表現	<p>           ○文章は的確・簡潔で、学年段階に応じてわかりやすい表現とし、表記や用語は統一した基準を設けている。            ○毛筆教材では、学年に応じたキャラクターで穂先の動きを表現したり、点画のつながりがわかりやすいよう青線で示されたりしている。         </p>	
総 括	<p>           ○「書写のかぎ」でねらいを整理し、学習内容がわかりやすい工夫がされている。            ○色覚特性や特別支援教育への配慮、左利き児童への配慮など、様々な工夫が随所に見られる         </p>	

書名 項目	<h1>小学 書写</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○毛筆教材では、運筆や穂先の動きがわかりやすいよう朱墨で色づけされている。            ○手本には書き順を示す数字が振られており、筆順を意識づける工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○「考えよう」では「どう変わるかな。」「どうなっているのかな。」のような問いかけの文になっており、課題解決に向けて考えるよう工夫されている。            ○「ふり返ろう」の項目が各時間に設けられており、めあてに対して達成度を確認できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「つかむ・考える」「確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」の学習過程を明確に示している。            ○文字を書くことよさを意識づけるページや表記があり意欲を持たせる工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</b>            ○水書用紙が巻末にあり、水書が体験できるようになっている。            ○「ためし書き」「まとめ書き」を設けて、学習の前後で字の変容を確認できる。         </p> <p> <b>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</b>            ○「レッツ・トライ」で様々な教科のノートの取り方など学習事項に関連した内容が取り扱われている。         </p>	
資 料	<p>           ○全学年の巻末に前学年と現学年で習う漢字やひらがな、カタカナ表を掲載している。            ○QRコードが各ページにある。そのコードと連動している「まなびリンク」もある。         </p>	
表記・表現	<p>           ○めあてやふり返りなどにおいてユニバーサルデザインフォントを使用している。            ○手本の文字が右側のページに配置してあり、用具を置いたり扱ったりしやすい。         </p>	
総 括	<p>           ○「めあて」「考えよう」「ふりかえろう」で指導の要点がわかりやすく明記されているため、教師にも児童にも学習のイメージがもちやすくなっている。            ○ユニバーサルデザインフォントの採用や手本に書き順を示す数字を振るなど意識付けを図れるよう工夫されている。         </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">書写</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光村</div>
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b>            ○毛筆の準備がわかる例示や朱墨を用いて、穂先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるように工夫されている。            ○「たいせつ」で重要なポイントである筆の運び方などをわかりやすくまとめている。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ○整った字を書くためのきまりを考えさせる手立てが一目でわかるように工夫されている。            ○「たしかめよう」の学習過程で友達と話し合う活動を取り入れている。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ○「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」の学習過程を明確に示している。            ○ねらいとふりかえりの欄がセットで示されていて主体的な学びがしやすい。         </p> <p> <b>＜毛筆と硬筆との関連＞</b>            ○毛筆の学習を硬筆へ生かせるよう、毛筆学習の後には、教材内に必ず硬筆課題を設けている。            ○水書用紙が巻末に付属しており、毛筆へつながる練習が繰り返しできる。         </p> <p> <b>＜各教科や日常生活との関わり＞</b>            ○「書写を広げたい」では様々な教科の学習事項に関連した内容が取り扱われている。            ○SDGsの達成に向けて書写のできる活動をまとめた「SDGsブック」などにより日常に生かすアイデアを豊富に盛り込んでいる。         </p>	
資 料	<p>           ○QRコードが多くのページで掲載されており、自分で動画を見ながら取り組めるようにしている。            ○巻末に前学年や現学年で習う漢字やひらがな、カタカナ表を載せている。         </p>	
表記・表現	<p>           ○毛筆教材では、学年に応じてキャラクターで穂先の動きをわかりやすく表現している。            ○発達段階に応じてわかりやすい文章で表現している。表記や用語は学年で段階を設けつつ統一している。         </p>	
総 括	<p>           ○毛筆の運筆などを共通のキャラクターとオノマトペを用いてわかりやすく示しており、学年が変わっても縦断的に積み上げていくことができる。            ○QRコードによるコンテンツやSDGsに関連付けた時代に即した内容が豊富に用意されている。         </p>	